



# こちら三原市消防本部!



▲市HP

☎ 消防本部 ☎ 0848-64-5910



## 第47回三原消防まつり



実はやっさと同い年!  
市を盛り上げるまつり

### いざという時の 緊急連絡

子どものけがや病気に  
関する相談

小児救急医療電話相談

(#8000)

☎ 19時～翌8時

☎ での緊急通報も  
できます  
(119番)

いつもと様子が違う、  
おかしい場合は  
迷わず119を!

もしものときの  
救急車利用  
マニュアル▶



会場で感じよう!  
担当者の燃える思い



令和5年度は、消防応援団で実業家のダニエル・カールさんによるトークショーを開催するほか、全国消防イメージキャラクターの消太くんが遊びに来てくれます。

新たな楽しい企画とともに、皆様のご来場をお待ちしています!



昭和51年

昭和61年



平成17年

令和4年

三原消防まつりは、三原の夏の風物詩・やっさ祭りと同じ昭和51年に、市民の防災意識を高め、知識を普及することを目的に始まりました。昭和のころは帝人通り、平成はリージョンプラザ、そして令和になってからは消防庁舎に場所を移して開催し、過去には約3,000人の来場を記録したことも。

今年10月21日(土)に開催。やっさに負けないくらい市を盛り上げるまつりにします!



(Vol.13)

市民による  
まちの  
PRチーム

三原市シティプロモーション

## ぐっとみはら編集部

まちのぐいいところ、を  
「#ぐっとみはら」を  
つけて投稿しよう!

## 再生からつながるものづくり

「これもかわいらしいね」。完成した作品を手に、楽しそうなやりとりをするのは「綿しごと」の会のメンバーの皆さん。毎週土曜日に、高坂町コミュニティホームに集まり、草木染めが施された糸や布などを使って暮らしを彩る日用品や服などを作るものづくりに取り組んでいます。

この会ができたのは、平成30年度の西日本豪雨災害の後だそう。

### 綿を育て、糸を紡ぎ 草木で染め、作品へ



### 被災した畑を再生し 高坂を元気に…

「被災した畑の再生として思っていたのが『綿』の栽培でした」と話すのは会の代表も務める地域支援員の村尾きみかさん。雨の被害を何度も受けながらも、毎年種まきを行い、収穫した綿から丁寧に糸を紡ぎます。そして、「コミュニティホームの庭などでとれた紅梅の枝やクチナシなどで草木染めを楽しみます。ひと昔前は、当たり前だったこの光景。忙しい日常の中で、ゆっくり暮らす楽しみ方を思い出させてくれます。



2期生メンバーが  
始動!



今回、新たに2期生メンバー10人が加わりました。今後も三原ならではのネタや気になる情報を発信していきます!

Instagramを  
チェック!



市内のグルメ・スポット・  
イベント情報を発信中!

# 市長 × 自転車ヘルメット

自転車に乗るとき、ヘルメット着用を！



「秋の全国交通安全活動」と「犯罪防止活動」の一環として、9月3日に三原交通安全協会沼北支部で、「かかし祭り」が実施されました。

この祭りは令和5年度の開催で24回目となり、地元の町内会や女性会など10チーム以上が作成した、交通安全や犯罪防止を呼び掛けるユニークなかかしが展示されました。令和5年度の大賞に輝いたのは、自転車の乗車用ヘルメットを着用したアニメキャラクターを模したかかしでした。また、児童・生徒が考えた交通安全標語も、自転車のヘルメット着用を呼び掛けるテーマが多かったように感じました。

自転車は私たちにとって、とても身近な乗り物で、自転車での通勤や通学をされている市民も多いと思います。皆さんもご存じのとおり、令和5年4月1日から道路交通法の一部改正により、すべての自転車利用者に乗車用ヘルメットの着用が努力義務化されました。警察庁のホームページには、自転車乗車中の交通事故の約6割が頭部に致命

傷を負い、ヘルメットを着用していない人の致死率が着用していた人に比べて、2.1倍高くなることなどが掲載されています。

市としては、自転車用ヘルメット普及促進策として、自転車用ヘルメットの購入費補助を県内で初めて実施しました。また、広島県警やプロロードレースチーム・ヴィクトワール広島と連携して、ヘルメットを着用した安全な自転車の乗り方などの啓発を進めていきます。

大切な命を守るため、自転車に乗るときはヘルメットを着用しましょう。



▲令和5年度に実施された「かかし祭り」

## Kia Ora! MIHARA

ニュージーランド出身の国際交流員コラム

● Vol.1 ●



CIR(国際交流員) ジェイク・ロコップさん



### ニュージーランドを紹介します

キア オラ(こんにちは)! 4月から市役所で働くCIRのジェイクです。ニュージーランド出身で、市に来てからまだ一年もたっていませんが、たくさんの人に助けられ、とても楽しく、毎日三原のいろいろな魅力を感じています。このコラムでは、私が発見した三原の魅力やCIRの仕事を紹介します。

さて、私の地元ニュージーランドはどのような国だと思いますか? 無人島だったニュージーランドは、13世紀頃に東ポリネシア系のマオリ人が定住したとされており、人類が定住した最後の陸地と言われています。人口は約500万人で、羊の数はその5倍もいます。また、自然豊かで、マヌカハニーやクラフトビール、チーズなどの食品が世界的に有名です。機会があれば、皆さんもぜひ、食べてみてください!

### 知ってる? ニュージーランド

#### 肉食動物がない島 固有の動物が生息

ニュージーランドにはオオカミやクマなどの野生の肉食動物やヘビはいません。そのため島には、キウィという飛べない鳥などが生息しています。



Information for foreign nationals in Mihara

#### Catalog Pocket

広報誌が10の言語で読める!



Google Play

App Store

#### Instagram & Facebook

CIRが三原の魅力などを発信中!



Instagram



Facebook

●多言語相談窓口(市役所本庁4階)

問 経営企画課 TEL 0848-67-6270 FAX 0848-64-7101